

平成29年度 学校評価結果公開シート

敬応学園幼稚園

1、本園の教育目標

自分で考え行動出来る「生きる力」をつけられるよう、立派な人格を持った人間の育成のため、幼稚園教育要領と浄土真宗の精神に基づき、宗教的情操を高め、一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな環境でのびのび素直な子どもを育てることを目標とする。

- ★よい生活習慣を身につける
- ★感謝の気持ちを持つ
- ★自然の恵みを喜び、活かされていることに気づく

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

☆外部の研修会に参加し、教師としての資質を向上させる
☆様々な保護者との連携をとり、信頼関係を築く
☆専門的な知識を得る
☆園の方針、目標の理解を深め「生きる力」を身につけるため
「自分でできることは自分でする」ことを年齢や発達段階に応じて、保育を推進する

3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	取組状況
1 教育環境設備	A	・余裕教室（楽器・音楽室）を設けることにより設定保育活動の時間を増やすことができスムーズに活動できた。 ・園舎内（廊下・階段・水道回り）の修理・塗装を行い、快適に過ごせるようになった。 ・園庭の固定遊具・正門の修理・塗装をし、安全性を強化した。
2 安全対策	B	・子どもたちの活動に伴う安全への配慮や注意喚起を最優先する。 ・登降園時の園前駐車場から門へ渡る際、保護者の責任のもと、注意喚起を行い、安全管理を確認した。 ・駐車場の増設をし、安全管理を強化した。 ・防災用品の購入。毎月一度、避難訓練を行っている。

<p>3 保育内容 子どもの表現能力の向上</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・製作活動では子どもたちの創造性を養うことを重点におき、自由に製作するとともに、壁面製作については子どもたちの意見を取り入れながら皆で一緒に作り上げるなど進め方を工夫することができた。 ・挨拶の徹底・話を聞く・順番を守る・約束の順守など生活習慣が身につくよう言葉かけをする。
<p>4 食育の充実</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の野菜を育てることから始め、収穫した野菜を子どもたちが調理し、様々な食材や食べることの大切さなども知り、関心を持てるよう充実を図った。又、自分で採集した野菜を家庭に持ち帰り、親子で料理し食すことによりコミュニケーションも取ることができたと良い評価が得られた。保護者からの評判も良かった。
<p>5 教職員の資質向上</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各研修会に参加し、学んだことを資料にまとめ職員会議において提供し資質向上を図る。 ・日々の子どもの姿について話し合う機会を毎日、職員間で持つようにし、自由に意見交換ができる環境をつくり、対応の仕方を話し合い、子どもの理解や具体的な関わり方などについて共有することが出来た。 ・保護者との連携を大切にし、信頼関係の向上に務めた。 ・保健衛生はマニュアルによる救急・感染症や嘔吐物などの対処法の勉強実施。
<p>6 研修と研究</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・絵画講師を招き、絵画指導の研修を年6回受講し素材研究や描画の導入、指導中の教師の言葉かけの重要性を知り、保育に活かすよう努めた。 ・体育専門教師による計画的指導により、活発な体操あそびを実現し、子どもの運動能力を高めるとともに日課保育の中でも取り入れていくことができた。
<p>7 子育て支援の充実</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早朝保育（7時30分～）、超過保育（17時～18時30分）の時間延長を実施。 ・未就園児（ひよこくらぶ）の活動内容・回数を増やし、園の特色や子育て相談できる機会を増やすことにより充実をした。

8 子どもの成長の向上	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ ありがとうの感謝の気持ちを忘れず、父母又、教師命、生きる力に敬いの心を育て、思いやりの心を養っていく。 ・ 子ども一人一人を認める中で子どもたちの自信に繋ぐとともに子どもたちを成長させていくことができた。
9 災害や不審者侵入を想定した防災訓練	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訓練計画を作成、具体的な方法を検討し訓練を実施。 ・ 教職員一人一人の意識を高めることができた。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	<p>取り組むべき課題の為、具体的な実施内容や方法を全職員が日々話し合い、共通理解することで教職員が一人ひとりの子どもを見る視点に意識変化がみられた。今後も客観的な視点で自らの教育を見直し、さらに充実した実践ができるよう努力を重ねてほしい。</p>

【達成度の表示方法・評価の基準】

- A：十分に達成されている。
- B：達成されている。
- C：取り組まれているが、達成が十分でない。
- D：取り組みが不十分である。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
1 教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の様子をよく観察し、成長や変化に気づけるようにする。ひとりひとりの子どもの良さを認め、教員が客観的に子どもを見る目を養うよう努める。 ・これまでの保育カリキュラムの編成の見直し、評価点検を実施することで保育活動の更なる充実を図る。 ・現状の教育課程に満足せず、保育内容やコーナー遊びが出来るようスペースの工夫や昔遊びの復刻を取り入れるなど全職員が提案し実施する。 ・外部研修や園内研修を通し、教員の専門性・資質を向上し、保育に反映する。 ・職員間への連絡事項や情報の伝達の徹底に努めたが、まだ十分でない。伝達連携の重要性を踏まえ、各自、保育や責任感などを見つめ直し疑問や改善点など職員間の意見交換を今後の課題とし、資質向上を目指す。 ・家庭・保護者との連携を大切に更なる信頼関係の向上に努める。
2 教育環境設備	<ul style="list-style-type: none"> ・固定遊具や施設の破損、修理ができていないため点検、修復、安全性を強化させる。
3 安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と一緒に降園しているにもかかわらず、不審者が園児に声をかけるといった事があった。注意喚起し、安全管理を強化していかなければならない。
4 子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・早朝保育（7：30～）と超過保育（17：00～18：30）の時間延長を実施する。 ・未就園児（ひよこくらぶ）の活動の内容・回数を増やし充実させ、園の特色や子育て相談できる機会を増やす。

6、学校関係者評価委員会の意見

- ・日頃より、丁寧にひとりひとりの子どもを見守り、把握しながら職員が保育にあたっているという評価を受ける。
- ・教職員の意識が子どもの思いを受け止め、寄り添いながら、よりよい保育を目指して、積極的な取り組みがなされている。
- ・園の対応や設備の改善が行われている。

7、園児募集について

- ・入園説明会を実施するだけでなく、個別に相談を受け付け丁寧に対応した。
- ・未就園児ひよこくらぶの参加から誕生日を迎え、満3歳児クラスに入園する子が多く見られるにあたり、ポスターやネットなどで参加募集をするとともに、入園募集へと促す。